

事業名【データ活用人材育成等拠点創造事業】

旧制度（推進）

交付金種別	第2世代交付金	事業計画 期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	154,200千円（53,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型			事業分野（詳細）	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	【目的】 人口減少などの社会経済情勢に対応するため、高等教育機関や地域の支援機関等と連携し、市内企業の専門人材育成や生産性向上（DX推進）の支援を行う。 【効果】 専門人材の育成やDX推進を支援することで、企業の生産性が向上し、更なる新産業・新技術の創造が促され、地域産業の活性化を図ることができる。				
事業概要・ 主な経費	1.専門人材の育成支援 信州大学工学部等と連携し、社会人と高等教育機関に通う学生に対して人材育成を行う。 （1） 企業向けデータサイエンス講座 （2） 若手IT人材育成プロジェクト 【報償費13,500千円、委託料12,000千円】 2.生産性向上（DX推進）支援 【委託料28,000千円】			実施 体制	産学官金が一体となった データ活用人材育成・生産性向上支援体制